

平成30年度
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（水産）】

専門論文試験課題

<課題>

現在、国において水産政策の改革の議論が行われており、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化の両立などが改革の方向性として示されています。

このうち、水産資源の適切な管理では、これまでの漁業の許可数や漁具の制限による管理を見直し、個人に年間の漁獲量を割り当てて管理する方式の導入が検討されています。

また、割り当てられた個人の漁獲量については、漁業を廃業する際、漁船を譲渡する相手方へと移転できる仕組みとなっています。

一方、この新たな資源管理方式は、海外では既に導入している国がありますが、日本は海外に比べて零細な個人経営体が多いとして導入されてきませんでした。

そこで、新たな資源管理方式の導入について、考えられるメリット・デメリットを比較検討した上で、賛否に係るあなたの考えを述べなさい。